

2016 年 5 月 吉日

「ASIAS 特別支援学級でのアーティストによるワークショップ型授業」
＜2016 年度 実施校を募集いたします＞

拝啓 陽春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、特定非営利活動法人芸術家と子どもたちでは、2000 年より、アートを通しての「学び」が、子どもたちの「生きる力」を育むことにつながると考え、公立の小・中学校、幼稚園、保育園といった学校教育・保育の現場において、アーティストと先生が協力しながらワークショップ型授業を行う活動（ASIAS：エイジアス）を行ってきました。

2008 年度からは特別支援学級を対象とした活動にも本格的に取り組みはじめ、2015 年度までの 8 年間に東京都内の公立小・中学校のべ 194 校の特別支援学級（固定級・通級）においてこの活動を実施しました。

このたび、2016 年度の実施校を以下のとおり募集しますのでご案内いたします。実施にご関心をお持ちの方は、同封の「募集のご案内」をご参照のうえ「実施申込書」をご返信頂きますよう、お願い申し上げます。

また、今年度から新たな取り組みとして、「交流及び共同学習」の一環としての特別支援学級と通常学級の交流アーティスト・ワークショップ」の実施校も募集しております。詳細資料を添付しておりますので、こちらも合わせてご確認ください。

敬具

記

- | | |
|-------------|--|
| 1. 事業の概要 | 別紙-1 2016 年度「実施校募集のご案内」 |
| 2. 実施申込・問合せ | 2016 年度「実施申込書」 |
| 3. 申込締切日 | 2016 年 5 月 26 日（木） |
| 4. 添付資料 | <ul style="list-style-type: none">・別紙-1 2016 年度「実施校募集のご案内」・参考資料-1 「実施事例」・別紙-2 「“交流及び共同学習”としてのワークショップ実施校募集のご案内」・参考資料-2 「“交流及び共同学習”ワークショップについての座談会 <抜粋記録>」・「実施申込書」 |

以上

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人芸術家と子どもたち
事務局 中西、船元、久保田
電話 03-5961-5737
FAX 03-5961-5738

2016 年度「ASIAS(エイジマス)特別支援学級でのアーティストによるワークショップ型授業」 実施校募集のご案内

NPO法人芸術家と子どもたちでは、2008 年より、アートを通しての「学び」が、子どもたちの「生きる力」を育むことにつながると考え、公立の小・中学校の特別支援学級において、アーティストと先生が協力しながらワークショップ型授業を行う活動(ASIAS: エイジマス)を行ってきました。本事業では、ダンスや音楽、演劇等のプロのアーティストが学校に出向き、各学校の担当教員と意思疎通を図り、指導方針・方法を共有しながら数日のワークショップ型授業を実施します。つきましては、2016 年度の開催にあたり、下記のとおりの案内いたします。

—記—

■実施概要

実施日程	2016 年 7 月頃～2017 年 3 月
対象	都内公立小中学校の特別支援学級(固定級・通級)
アーティストジャンル	振付家・ダンサー、作曲家・音楽家、演出家など
内容	担当教員の希望をもとに、アーティストを学校に派遣し、数日間のワークショップ型授業を重ねます。コンサートや演劇鑑賞ではなく、子ども自身が活動し、体験していきます。
コーディネーター	「NPO法人芸術家と子どもたち」スタッフがコーディネーターとなり、打合せから授業まで全ての現場に立ち会い、進行をサポートしていきます。

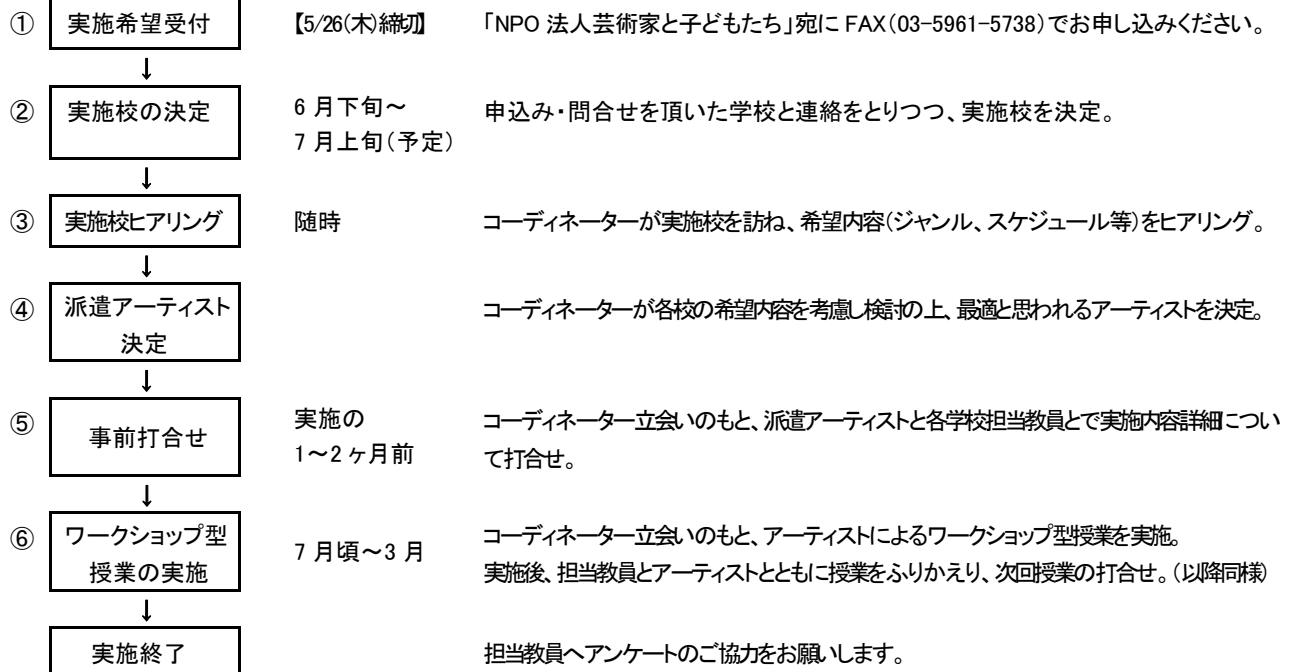
■期待される教育的効果

○本事業は、アーティスト及びコーディネーターが各学校の担当教員と十分意思疎通を図り、指導方針・方法やめあてを共有して実施します。

○児童・生徒たちに対して期待できる教育的効果としては、例えば以下のようなものがあります。

「創造力」「コミュニケーション能力」「チャレンジする力」「イメージする力」等の向上、あるいは、「自己肯定感」や「他者を理解する感覚」の醸成、など

■実施のながれ



※1 使用する教科・領域は自由です。(例:生活単元学習、特別活動、自立活動、体育、音楽等)

※2 授業時数は、内容に応じて合計 2～20 コマ程度の間で自由に設定が可能です。

※3 実施にあたっては、ご相談の上、授業時間割の調整などを担当教員にお願いします。

※4 授業実施内容によっては、実施場所として体育館又は広いスペース(多目的室等)の確保が必要となります。

※5 校内調整や保護者への連絡等、学校の授業及び行事として必要な事項については、担当教員にお願いします。

※6 学校側の財政的な負担は基本的にございません。

以上

通常学級と一緒に実施しませんか？

**「交流及び共同学習」の一環としての
 特別支援学級と通常学級の交流アーティスト・ワークショップ
 実施校募集のご案内**

NPO法人芸術家と子どもたちでは、これまで多くの小・中学校で実施してきたアーティスト・ワークショップが、障害の有無を越えた子どもたち同士の関係づくりに大きく寄与するのではないかと考え、2015年度より「インクルーシブ教育の理念に基づいたアーティスト・ワークショップ」をテーマに掲げた研究活動を行っています。その一環として、2015年度は、「交流及び共同学習」の一環としての、特別支援学級と通常学級の交流アーティスト・ワークショップ（以下、交流ワークショップ）について、その可能性を探求する座談会を開催するなど、考察を進めて参りました。

正解のないアートの世界において、特別支援学級と通常学級の子供たちが共に創作活動をする中で、「障害者」でも「健常者」でもなく、一人の「表現者」として、お互いに向き合い、関係を築いていく場づくりができればと思い、この度、交流ワークショップの実践にご協力いただける学校を募集致します。実施にあたっては、他のワークショップ型授業と同様、各学級の担当教員と意思疎通を図り、指導方針・方法を共有しながら、慎重に進めていく予定です。

交流ワークショップの実施にご関心のある先生は、下記詳細をご確認の上、「実施申込書」の設問〔3〕にご回答くださいますようお願い申し上げます。また、参考資料として、上記座談会の記録抜粋資料（参考資料-2）も添付しておりますので、合わせてご確認ください幸いです。

—記—

■実施概要

実施日程	2016年7月頃～2017年3月
対象	都内公立小中学校の特別支援学級（固定級）
アーティストジャンル	振付家・ダンサーなど、身体表現を中心としたワークショップ
内容	担当教員の希望をもとに、アーティストを学校に派遣し、6日間程度、特別支援学級と通常学級の「交流及び共同学習」の一環として、ワークショップ型授業を重ねます。また、内容によっては、最終日に、全校児童や教員、保護者などに向けてのパフォーマンス発表を実施する予定です。
コーディネーター	「NPO法人芸術家と子どもたち」スタッフがコーディネーターとなり、打合せから授業まで全ての現場に立ち会い、進行をサポートしていきます。

※一緒に活動をする通常学級の実施学年、クラス、人数については、特に制限はございません。

※授業時数は、**2コマ×6日間の合計12コマ程度**を予定しております。

※上記コマ数のうち、初回から特別支援学級と通常学級の合同授業にするのではなく、それぞれの学級ごとに数回ずつ実施した後、段階的に合同授業にしていくなど、各学級の様子を見ながら、授業の組み方は決めていく予定です。

※その他、【別紙-1】の下部、※1、3～6は共通事項となります。

■実施のながれ

【別紙-1】の記載事項と同様です。

実施申込書

【返信先】 特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち 宛
FAX:03-5961-5738(送り状は不要です)
※2016 年 5 月 26 日(木)までにお送りいただきますようお願いいたします。